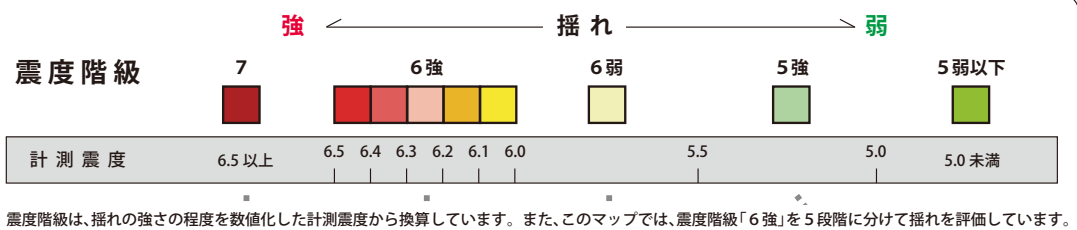
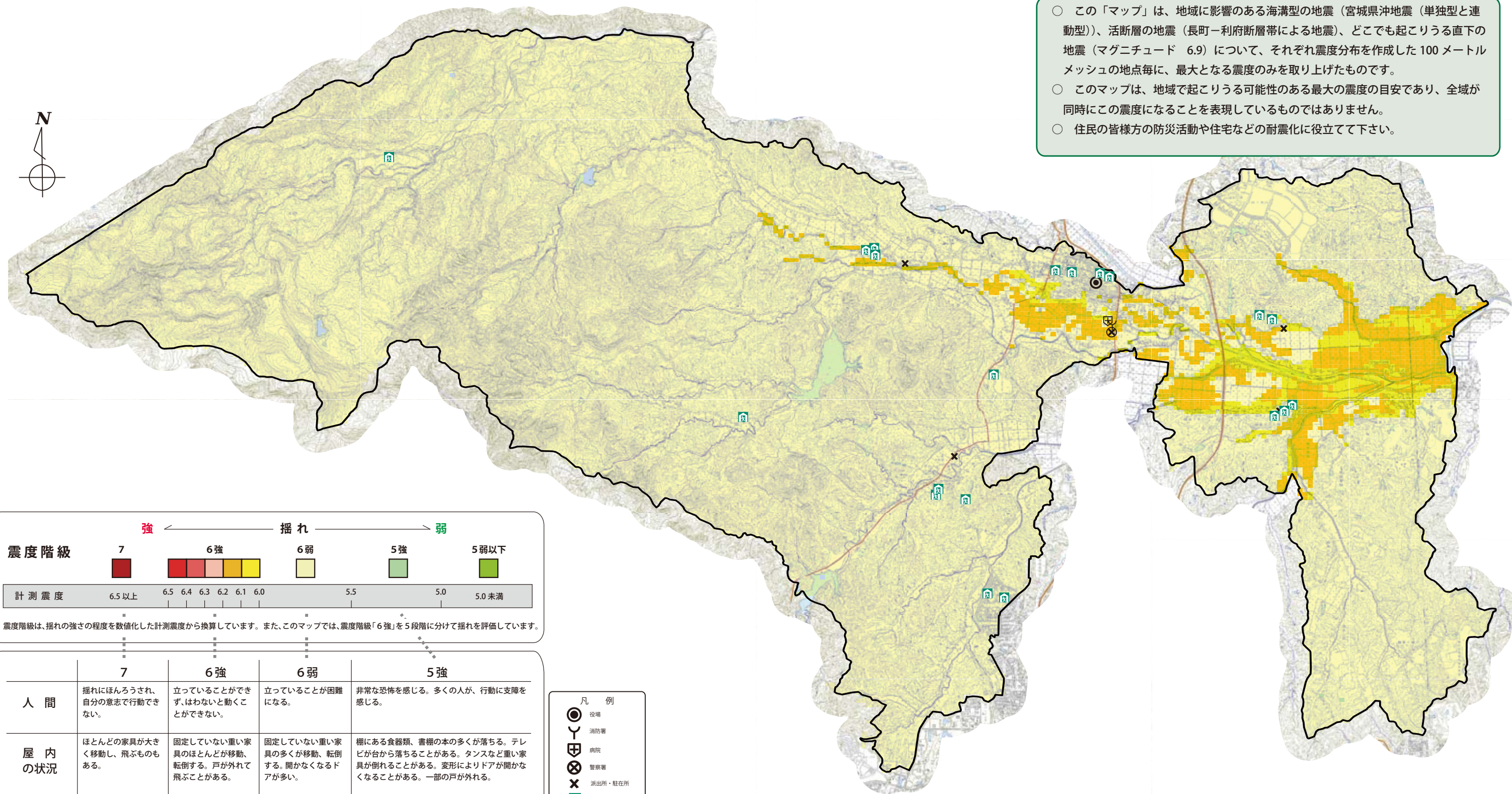




大和町地震防災マップ

揺れやすさマップ (最大の震度の場合の想定震度分布図)

- この「マップ」は、地域に影響のある海溝型の地震（宮城県沖地震（単独型と連動型）、活断層の地震（長町ー利府断層帯による地震）、どこでも起こりうる直下の地震（マグニチュード 6.9）について、それぞれ震度分布を作成した 100 メートルメッシュの地点毎に、最大となる震度のみを取り上げたものです。
- このマップは、地域で起こりうる可能性のある最大の震度の目安であり、全域が同時にこの震度になることを表現しているものではありません。
- 住民の皆様方の防災活動や住宅などの耐震化に役立てて下さい。



	7	6強	6弱	5強
人間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
屋内の状況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなるがある。一部の戸が外れる。
屋外の状況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。



このマップは、宮城県第三次地震被害想定調査の成果を再構成し、町内の建築物耐震改修を促進するために作成したものです。マップの基図は、国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図を使用しています。

このマップについてのお問い合わせは、大和町役場総務まちづくり課 までお寄せください。